

令和8年度
第1号
2026.9



第1回 ごみゼロカフェ 開催報告 ごみゼロカフェNEWS

暮らしの中のプラスチックと、 ごみを減らす工夫を考えよう！

★ プラごみがアートに変わる！
★ キラキラ 万華鏡づくり

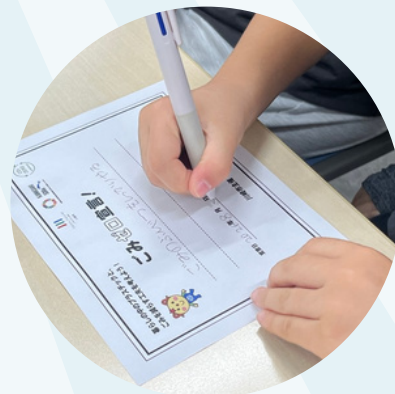
第1回ごみゼロカフェは「プラスチックごみ」をテーマに開催しました。第1部の講義では、使い終わったプラスチックはどこに行くのだろう？プラスチックごみが私たちの生活や環境にどんな影響を与えるのかを学びました。第2部は、神奈川県内の海岸で回収された小さなプラスチックのかけらを使って、世界に一つだけの万華鏡づくりに挑戦しました。プラスチックの色や形によって様々な模様になり、それぞれのアイデアで美しい万華鏡を作るとともに、最後は、ごみを減らす工夫についてみんなで考えました。



第1部
講義



第2部
アップサイクル工作



ごみゼロ宣言！

第1回 ごみゼロカフェ開催概要

開催日時：8月22日（土） 10：00～11：40

開催場所：中原市民館 第3・4会議室

参加者：28名



第1部

プラスチックごみについて考えてみよう!

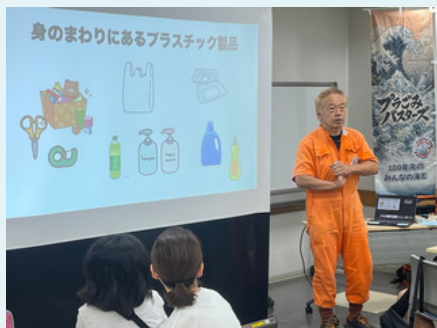
第1部では、私たちの暮らしの中にはプラスチックがたくさん使われていて、身近なプラスチックごみがまちから川へ、そして川から海へと流れ込み、生き物や環境に大きな影響を与えていることを学びました。実際の海岸のごみの写真や、砂の中に含まれる小さなプラスチックのかけらを見たことで、参加した皆さんはごみ問題をより身近に感じることができました。「どうしてプラスチックごみを減らす必要があるのか」を考え、日々の暮らしの中で自分たちにできることを考えるきっかけとなりました。



講師 NPO法人海の森・山の森
理事長 豊田 直之 氏

講義内容

- 身近なプラスチック製品にはどんなものがあるだろう？
- どうしてプラスチックを減らす必要があるの？
- ごみの行方
 - ーえっ!? 使い終わったプラスチックが海に流れこんでいる？
 - ー海の生き物たちがプラスチックごみで苦しんでいる！
 - ーマイクロプラスチックって何？どうやってできるの？
- とってもこわい！このままプラスチックを使い続けた30年後の未来
- 川崎市の資源循環の取組



私たちの身近にあるプラスチックごみが、まちから川などを通じて海へ流れ込み、海岸や海の中に多く存在していることを、実際の写真を見ながら学びました。



海の中に流れ込んだプラスチックごみは、ウミガメなどがエサと間違えて食べてしまうなど、海の生き物に与える影響についても学びました。



メモを取ったり、スライドを撮影したりとても熱心な姿が印象的でした。



プラスチックごみは、海の中の問題だけではなく、私たちの生活や環境にどんな影響があるのかを知り、ごみを減らすこと、また、出たごみを正しく分別し、資源として循環させることの大切さ改めて考える機会となりました。



第2部

アップサイクル工作

第2部では、海岸で回収された小さなプラスチックのかけらを使って、世界に一つだけの万華鏡づくりに挑戦しました。選ぶ色や形によってそれぞれに違う美しい模様ができるので皆さん感激していました。



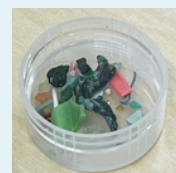
実際の神奈川県内の海岸で回収された砂
小さなプラスチックがたくさんでびっくり！

みなさん
真剣な表情！

まずは、万華鏡の本体作りからスタート！
慎重にテープを貼って、鏡の筒を作っていきます。



砂の中から万華鏡の模様の決め手になる
プラスチックを選んでいきます。

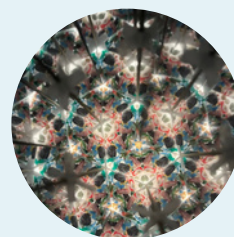
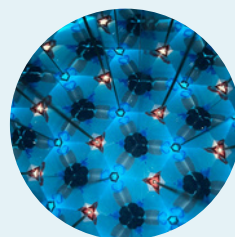
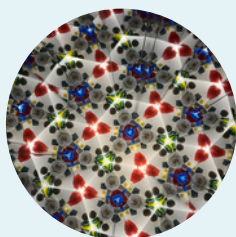
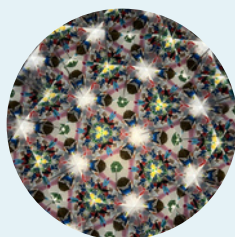
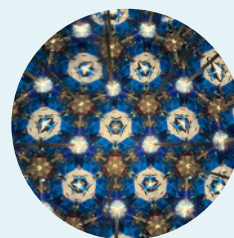
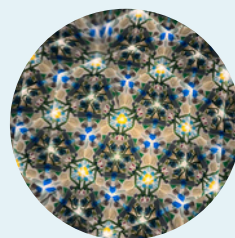
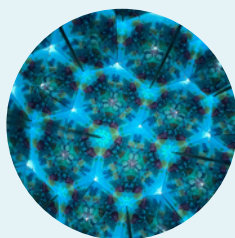
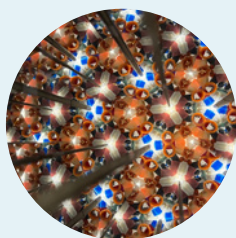


配置されたプラスチック



実際にどのように見えるかを
チェック！

完成した作品





ごみゼロ宣言

最後は、皆さんに今日からできるごみを減らす工夫を考え、
『ごみゼロ宣言』として発表していただきました。

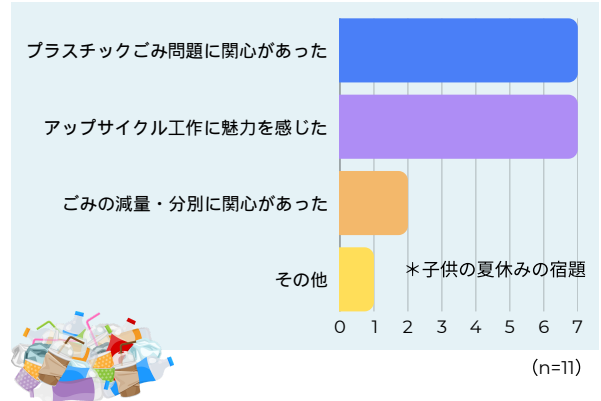
- ・買い物のときはマイバッグを使ったり、必要な分だけ買う
- ・ペットボトルはラベルレスのものを選ぶ
- ・ごみを宝として、ごみの清掃宝探しをする
- ・水筒を使って、ペットボトルごみをへらす
- ・ごみの分別をしっかりやる
- ・毎日、水筒を持ち歩く
- ・出かける時は、ゴミ袋を持っていく
- ・海にごみが流れないように、きちんと捨てる
- ・バーベキューのときは、マイ携帯食器を持ち歩く
- ・不要なものは買わない
- ・必要な分だけ買い物する
- ・残さずたべる



参加者の感想

- ・講義も、小学生が理解できるようにわかりやすく教えていただき、ありがとうございました。
- ・子供にとっては難しい話だったが、分かりやすく説明していただき、私自身も勉強になりました。工作もとても楽しんででき、参加できて良かったです。
- ・とても勉強になったので、ぜひ次も参加させてください！
- ・プラゴミの捨て方、いつも悩みます。柔軟剤の容器や油に汚れたものなど...悩んだら普通ゴミにしましたが、今回、マイクロプラスチックの話を書いて、なるべく資源としてリサイクルできるよう考えようと思いました。

■ごみゼロカフェに参加したきっかけ



良かった
100%

第1部 講義について

- ・マイクロプラスチックが何故良くないのかわかりました。また、城ヶ島も湘南も行ったことがある場所だったので身近な話で良かったです。
- ・自分たちのためにもゴミは減らすことが大事ということが改めてわかった。
- ・子供でも理解しやすく、とても有意義でした。
- ・とても勉強になりました。プラスチックは減らした方がよい、うみがめの胃袋の中もニュースで知っていたが、どのようにゴミが海に流れるのか、マイクロプラスチックになるのか知ることができた。
- ・話しもわかりやすく、改めて身近にあふれているプラスチックについて考えるきっかけになった。
- ・マイクロプラスチックの存在を初めて意識しました。先生のハキハキした子供に楽しさを伝えようとする話し方がすてきでした。毒の話は、子供がとても不安そうでしたが、興味を持つことができたと思います。



良かった
100%

第2部 アップサイクル工作（万華鏡づくり）について

- ・子供がとても集中して工作していました。プラスチックゴミから思った以上にきれいな作品ができました。
- ・ゴミが砂浜の砂にこんなに入っていると思わなかった。ゴミがこんなにきれいになると思わなかった。
- ・たのしかった。楽しいと思っていいのかなと思いながら楽しかったです。
- ・低学年でもできるくらいの丁度良い内容で楽しく参加できました。
- ・ゴミがきれいな万華鏡の材料になり、すごく良かった。
- ・ゴミの位置により見え方が変わるため、見ていておもしろいし、楽しい良いものができた。
- ・プラスチックのごみでとてもきれいな万華鏡を作れて、親子共々とても楽しかったです。

ご感想・ご意見

お問合せ

川崎市環境局生活環境部減量推進課

☎ 044-200-2579 ☎ 044-200-3923

✉ 30genryo@city.kawasaki.jp

川崎市ごみゼロカフェ 🔍

